

日本大学
生物資源科学部
農獣医学部

校友会会報

第50号



(湘南キャンパスから江ノ島海岸まで20分です。六会駅やキャンパスから彗星がよく見えました)

《目 次》

平成9年度総会と懇親会……………2	工学会(農業工学科・生物環境工学科) ……13
校友会創立50周年にあたって……………3	F T会(食品工学科・食品科学工学科) ……14
学部執行部……………4	拓友会(拓植学科・国際地域開発学科) ……15
募金協力をお願い……………5	むつあい会(短期大学部農学科) ……16
農学校友会(農学科・植物資源科学科) ……6	生活環境学科校友会
紫友会(農芸化学科) ……7	(短期大学部生活環境学科) ……17
角笛会(獣医学科) ……8	応用生物科学科校友会
満喜葉会(畜産学科・動物資源科学科) ……9	(応用生物科学科) ……18
いもづる会(食品経済学科) ……10	支部だより……………19
あすなろ会(林学科・森林資源科学科) ……11	会報第50号のあゆみ……………21
桜水会(水産学科・海洋生物資源科学科) 12	校友会役員・事務局名簿……………22

写真説明 『湘南から見た富士山とヘール・ボップ彗星』

盛大に平成9年度総会・懇親会



ホテル・センチュリーハイアットで開かれた平成9年度総会

平成9年度総会・懇親会は7月12日15時より新宿ホテルセンチュリーハイアットで開催された。

総会は「天平の間」において木村貞司事務局長の開会の辞に始まり、茂澤 卓会長挨拶、議長には茂澤会長が選任され、議事へと進行した。議事は平成8年度の一般経過報告、会計決算報告（収入38,839,765円、支出38,839,765円、基金積立金9,081,413円、名簿積立金19,364,711円）に関する報告がなされ、西山栄一監査による監査報告があり承認された。

ついで、平成9年度の事業計画に関し、会員数69,364人、準会員数7,570人が報告された後、校友会創立50周年記念式典、祝賀会、50周年記念誌発行、会報発行、名簿発行の準備等が各委員長から説明された。それらに必要な予算案として収入37,069,120円、支出37,069,120円、基金積立金12,081,413円、名簿積立金20,364,711円の予算案が審議の後承認さ

れた。

さらに校友会創立50周年記念式典、祝賀会開催場所が発祥の地の現湘南キャンパスに、同時に作成される会員名簿も従来型のほかCD-ROM版の作成なども決定した。

懇親会は「桃山の間」に会場を移し、70名のご来賓と約130名の会員を迎え茂澤会長の挨拶の後、ご来賓として日本大学総長瀬在幸安先生、日本大学校友会会長瀬在良男先生、元法務大臣田澤智治参議院議員、副総長・生物資源科学部長門田定美先生のご祝辞を頂戴した。乾杯の音頭は常務理事山澤新吾先生のご発声により歓談に移った。本年は日本大学の変革の年として種々計画されていることがご来賓から紹介された。さらに来年は校友会創立50周年を迎えることから、参加者もこれからの更なる発展を期待し、今までとは異なる生き生きとした雰囲気 naturali 醸し出された。



挨拶する瀬在良男氏



懇親会で歓談する会員やご来賓

校友会創立50周年にあたって

日本大学生物資源科学部・農獣医学部

校友会会長 茂澤 晃



平成10年7月11日には、学部校友会創立50周年を迎えます。会報48号、49号でご案内の通り、この記念事業を遂行するにあたり既に、総務委員会、名簿編集委員会、記念史編纂委員会が真摯に始動しています。平成9年7月21日の学部校友会総会で、各委員長より中間報告があり各委員会の進捗状況が発表され、これが具現化に熱心に努力されています。

また、NUSC構想（湘南キャンパス整備計画）の募金活動についても、学部校友会として、13分科会の絶大なご協力をえて、学部の新事業に協賛し、具体的に大意をしめすことが合意され、総会において承認されました。いいかえますと、先人のいう心は形をもとめ、形は心をすすめるということです。

個人のことにつきましては、世情まことに厳しい経済環境下ではありますが、母校の新事業ご理解の上心の浄財をご後援賜りますようお願い申し上げます。

さて、大学も学部も国際化、学際化、情報化とさらに生涯学習化と日々移りゆく社会のなかで、格段とその評価を高めるべく改革と努力を直截に進めています。2007年は日本の人口が減少する最初の年を迎え、その2年後は大学志願者数と受入れ側の数が逆転し、その意味では、大学志願者についても混沌とした状況になると思われます。加えて世の中は情報革命の時代に進み、経済大国などといわれあらゆ

る情報が、わが国に集まっていると思う一人よがりもいつの間にかそうでなくなってきました。既に情報の流れが日本を通りすぎるそうした時代を迎えるでしょう。母校は、世の中の動きをたえず先取りする大学であってほしいと思います。そして私たちは、教育研究の情報化をみつめ、最も進んだ教育環境、研究環境をつくりあげてほしいと切望します。さらにこれからは生涯学習の時代になり、2020年から人口の4分の1が65歳以上の高齢化社会になり、いまのままでいけば世界一の高齢化が進み、税金とか社会保障の負担率は現在の3倍を負担しなければならなくなるでしょう。そうなれば若者たちは日本を逃げだすという現象すら起こりかねません。そうしたことにならないように明るい未来を展望できるようなわが国であってほしいために、母校もそれなりの対応を急がねばと思います。校友は生涯、日本大学との結びつきを保ちながら学習していける、そういう仕掛けを大学が考えられてはと感じます。そして、日本大学の場合卒業生である校友にとって、一生を通じて人と人との出会いの場所になれるように、創立50周年を迎えるにあたって、一層心して努力していきたいと思っています。おわりに、会員皆様のますますのご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

（日本大学評議員・日本大学校友会副会長）

学部校友会50周年記念事業実行委員会

本 部	総務委員会 (兼、記念式典)	名簿編集委員会	記念誌編集委員会
委員長 茂澤 晃 委 員 富澤 寿樹 〳 近藤良三郎 〳 村田 昇	委員長 富澤 寿樹	委員長 近藤良三郎	委員長 村田 昇
農学校友会	委員 西島羽 曙	委員 葉山 嘉一	委員 兼平 勉
柴友会	〳 茂澤 晃	〳 隅田 裕明	〳 野口 章
角笛会	〳 日比野次郎	〳 鎌田 寛	〳 丸山 総一
満喜葉会	〳 平田 芳弘	〳 塩谷 正勝	〳 泉水 直人
いもづる会	〳 三木 敏夫	〳 斉藤 武至	〳 木島 実
あすなろ会	〳 鹿野 忠	〳 井上 公基	〳 塩沢南海治
桜水会	〳 竹内 均	〳 安齊 寛	〳 吉原 喜好
工学会	〳 村田 昇	〳 斉藤 公三	〳 石川 重雄
F T会	〳 関村 具由	〳 平田 明弘	〳 阿部 申
拓友会	〳 近藤良三郎	〳 長谷川勝男	〳 早川 治
むつあい会	〳 富澤 寿樹	〳 鈴木 勝春	〳 楠元 守
生活環境学科校友会	〳 岡崎 祥子	〳 飯尾 満	〳 飯塚 統
応用生物科学学科校友会	〳 大谷 憲司	〳 高橋 尚子	〳 佐藤 嘉兵
事 務 局	事務局 局長 記念式典担当 木村 貞司 本江 一郎	名簿編集担当 世良田 和寛	記念誌編集担当 会計担当 丹羽 美次 千野 誠

学 部 執 行 部

平成9年10月現在の学部執行部は、学部長・門田 定美教授、事務局長・山内 二夫参事、学部次長（湘南校舎）・別府 輝彦教授、学部次長（東京校舎）・出口 吉昭教授、学務担当・有賀 豊彦教授、学生担当・名取 正彦教授、研究担当・佐々木 恵彦教授、情報科学担当・青木 賢豪教授、就職指導担当・森嶋 博教授、事務局次長・渡辺 光男参事、事務長・松橋 一三参事、事務長（東京校舎担当）・大沼宏三郎参事、経理長・藤井 源二参事が活躍されている。



【学部長】

門田 定美（67才）教授。日本大学農学部水産学科卒業。担当科目は海洋環境学。



【事務局長】

山内 二夫（60才）参事。日本大学農獣医学部農業経済学科卒業。



【学部次長（湘南校舎）】

別府 輝彦（63才）教授。東京大学大学院化学系研究科修了。担当科目は応用微生物学。



【学部次長（東京校舎）】

出口 吉昭（68才）教授。日本大学農学部水産学科卒業。担当科目は増殖学概論。



【学務担当】

有賀 豊彦（55才）教授。日本大学農獣医学部農芸化学学科卒業。担当科目は栄養化学。



【学生担当】

名取 正彦（63才）教授。日本大学農獣医学部農学科卒業。担当科目は酵素化学。



【研究担当】

佐々木 恵彦（62才）教授。東京大学大学院生物系研究科修了。担当科目は林木育種学。



【情報科学担当】

青木 賢豪（57才）教授。日本大学文理学部国文学科卒業。担当科目は文章表現の論理。



【就職指導担当】

森嶋 博（65才）教授。東京大学農学部農業工学科卒業。担当科目は食資源利用工学。



【事務局次長】

渡辺 光男（64才）参事。日本大学理工学部機械学科中退。



【事務長】

松橋 一三（56才）参事。日本大学経済学部経済学科卒業。



【事務長（東京校舎担当）】

大沼宏三郎（64才）参事。日本大学法学部法律学科卒業。



【経理長】（事務局次長待遇）

藤井 源二（61才）参事。日本大学経済学部商業学科卒業。

* 年齢はH9.10.1現在

湘南キャンパス整備計画

募金協力をお願い

日本大学生物資源科学部・農獣医学部は、さらなる発展と教育・研究体制の充実を図る整備のため「NUSC計画＝日本大学湘南キャンパス計画」を企画しています。

この計画は、現在、湘南キャンパス（7学科）と東京キャンパス（4学科）の二カ所で教育・研究を行っておりますが、平成12年度には東京キャンパスにある農芸化学科・食品経済学科・食品科学工学科・国際地域開発学科を湘南キャンパスへ移転するとともに、新本館棟並びに実験・研究棟を建築して一層の教育・研究環境の充実強化を図る計画です。

建築内容は湘南キャンパス内に①新本館棟（地下2階地上17階建）②実験・研究棟（地下1階地上7階建）を建設します。

着工予定は平成10年4月、竣工予定は実験・研究棟が12年3月、新本館棟が平成14年3月にそれぞれ計画されています。

工事総額は170億円で募金目標額は10億円、その中で校友に要請された募金額は2億5千万円です。

学部校友会としては、本事業に対して学部当局から正式な募金協力の要請を受けたことをふまえ、分会会長会議をはじめ幹事会、さらに7月の総会において、学部校友会と13学科分会が協賛することで決議されました。併せて校友個人としても厳しい経済状況下ではありますが、「可能な限りの支援をしたい」という協力体制を全会一致で確認しました。

本計画は、学部にとっても過去には例のなかった多額の資金を必要とする重要でかつ最大の事業であると思います。詳細につきましては、学部当局から追って趣意書を含めお願い書をお送りすることになっております。校友各位には以上の趣旨をご理解いただき、格別のお力添えを賜りますようお願いいたします。

【日本大学生物資源科学部湘南校地整備募金委員会校友会委員】

農 学 校 友 会	会 長	西鳥羽	曙 紫	友 会	会 長	茂 澤	杲
角 笛 会	会 長	日比野 次 郎	満 喜 葉	会 会 長	平 田 芳 弘		
い も づ る 会	会 長	三 木 敏 夫	あ す な ろ	会 会 長	鹿 野 忠		
桜 水 会	会 長	竹 内 均	工 学 会	会 長	村 田 昇		
F T 会	会 長	関 村 具 由	拓 友 会	会 長	近 藤 良三郎		
む つ あ い 会	会 長	富 澤 寿 樹	生活環境学科校友会	会 長	岡 崎 祥 子		
応用生物科学科校友会	会 長	大 谷 憲 司					

農 学 校 友 会

◇農学科・植物資源科学科◇

連絡先 緑地環境計画学研究室
0466-84-3623 勝野 武彦

平成8年度総会開催

平成8年度の総会は平成8年9月14日(土)に

先の理事会において提出事項の審議後、湘南校舎第1会議室で“総会に代わる幹事会”として開催されました。その中で“今後、会の名称をどのように考えるか”“校友会活動の活性化”“幹事会や総会時における出席率の悪さの改善”など白熱した意見交換がなされ、特に会の名称については、「早急に理事会で検討すべし」とする課題などありましたが、提出事項は全て承認され、総会終了後は会場を学部食堂に移し、分会招待者をお呼びしての懇親会となり和気あいあいのうちに終了しました。



分会招待者をお招きしての懇親会

「農学校友会」名称存続 ！.？

学部・学科の名称変更で農学校友会の会則も一部検討を余儀なくされており、前年度からの課題等について平成9年6月14日、8月2日の理事会で審議されました。会則の変更をとまなうことから、平成9年度の総会は案内のように全校友に呼びかけ平成9年9月27日(土)湘南校舎で開催されます。本会報が校友の皆様のもとに発送される頃にはすでに方向性は明示されているとは存じますが、事情斟酌の上ご了解下さい。

農学校友会名簿(1997年版)完成

10月の発送に向け準備を進めてきましたが、御存知のように郵便番号の7ケタ化が実施されることから、旧番号のまま発送しますと利用上の支障が充分考えられますので、新番号の名簿にした上で発送作業にとりかかりますのでしばらくお待ち下さい。会報等は届くのには名簿が送られてこない場合は、終身会費が未納ですのでご面倒でも納入くださるようお願い致します。なお、終身会費の納入状況は、卒業期でもかなり異なりますが、全体としては38.9%の手続き率です。

学科の近況

長い間、学部執行部(学生担当)として学部・大学の発展のためにご尽力いただいた石井賢治先生は本年3月に担当職を辞任されました。引き続き米田和夫先生が学科主任、坪木良雄先生が農場長として活躍されています。野村和成先生が助教授に昇格され、山越聖子副手は昨年12月に退職されました。日本大学海外派遣研究員としてウイスコンシン大学マディソン校へ出張されていた野村和成先生は9月末日に帰国されました。

来春3月卒業予定の4年生は、就職協定の廃止にともなう採用方法の多岐化から大変苦労(特に女子学生)しております。女子学生が学年の半数を占めるようになり、就職に頭を痛めているところです。どうかご援助とご協力を切にお願いいたします。

(就職係 藤井84-3620 篠原84-3626)

事務局長の交代

今年度から米田和夫先生に代わって勝野武彦先生が事務局長として事務局の運営を担当されます。従って、事務局長 勝野(84-3623)、名簿係 葉山(84-3628)、会計係 磯部(84-3620)が校友の窓口となります。(藤井 秀昭)

紫 友 会

◇農芸化学科◇

連絡先 植物栄養生理学研究室
03-3421-5492 長谷川 功

平成8年度総会・懇親会を開催

平成8年度の紫友会総会が平成8年11月16日、本学湘南校舎（旧藤沢校舎）で開催された。今回の総会・懇親会は、『生物資源科学部』へと学部名称を変更し、新たにスタートした本学の湘南校舎をご覧いただくとうと学内で開催された。総会では茂澤晃会長の挨拶の後、平成7年度の事業報告、決算報告、監査報告ならびに平成8年度事業計画、予算案について厳正に審議がなされ、いずれも承認された。

総会終了後、キャンパス内ツアーが開催され、専任教員が会員の皆様を新設された校舎や図書館、付属施設へご案内した。かつてのススキの原であったキャンパスは見違えるように整備され、その変貌ぶりに驚かれた交友も多かったようである。

懇親会はキャンパス内のNUSCホールで、多数の来賓と会員が出席し盛大に行われた。懇親会には紫友会1996年度（第3回）奨学生が招待され、懇親会の席上で表彰が行われた。また、昨年3月に定年でご退職された石井謙二先生に、紫友会事務局長として長年本会の発展に貢献されたことに対し記念品が贈呈された。

農芸化学科の近況

（人事）

有賀豊彦教授は本年3月より学部執行部学務担当として活躍されている。

川東正幸氏が土壌学研究室の助手として採用され



川東 正幸氏



長倉かすみ氏

た。川東氏は平成3年に神戸大学農学部農芸化学科を卒業後、平成8年に神戸大学院自然科学研究科博士後期課程を修了され同大学で日本学術振興会特別研究員をされていた。広澤朋美副手は本年3月で6年の任期を満了し退職された。後任として長倉かすみ氏（平成8年本学農芸化学科卒業）が副手として採用された。生物有機化学研究室の西尾俊幸専任講師は本年8月より1年間の予定でカナダの国立科学研究所に留学されている。

農芸化学科のスタッフは現在、教授（矢崎仁也、大石邦夫、山本一彦、徳山龍明、有賀豊彦、奥 忠武）6名、助教授（櫻井英敏、長谷川功）2名、講師（加藤順、隅田裕明、関 泰一郎、高橋令二、熊谷日登美、西尾俊幸）6名、助手（荻原 淳、野口 章、川東正幸）3名、副手（木村みつ美、長倉かすみ）2名の計19名となり、一丸となって研究・教育にあたっている。



上の写真は本年7月に湘南校舎で開催された高校生や受験生対象のオープンキャンパスにおける農芸化学科の研究内容の紹介のポスター。7つの研究室の研究成果が展示されている。

平成9年度第4回紫友会奨学生決定

紫友会40周年記念事業の一環として発足した紫友会奨学生の第4回生10名が、同奨学生選考委員会により厳正に選考され下記のように決定した。第4回紫友会奨学生の表彰は本年11月の紫友会総会・懇親会時に行われる。

2年次 棟方 花、則松優子、鶴見和子
3年次 小沢幸子、富田多恵、木野村奈美
4年次 奥北 薫、紙屋伸成、早戸由美
大学院農芸化学専攻1年 長谷部 忠

紫友会事務局より

平成9年度総会・懇親会が11月15日（土）に開催されます。会場は新宿駅ビル8F『プチモンド』（tel: 03-3352-8421、総会：午後3時～4時、懇親会：4時～6時）です。懇親会では懐かしい顔ぶれから現役学生の紫友会奨学生までが一同に会し、旧交を暖め楽しいひとときを過ごせることと思います。奮ってご出席くださいますようお願いいたします。

（関 泰一郎）



角 笛 会

◇獣医学科◇

連絡先 獣医臨床繁殖学研究室
0466-84-3644 津曲 茂久

角笛会総会を開催

平成9年度の角笛会総会が、さる5月17日(土)に日本大学生物資源科学湘南キャンパスで開催された。総会では日比野次郎会長のあいさつの後、平成8年度の事業報告・決算および平成9年度の事業計画・予算案等が慎重に審議され、承認された。総会終了後、門田定美学部長をはじめ多数の来賓・会員が出席して懇親会が盛大に行われた。

参加した会員からは、近年の湘南キャンパスの整備・充実ぶりに感嘆の声が多く聞かれた。

日本獣医学会が本学で開催

第123回日本獣医学会(大会長 福田陽一教授・実行委員長 渡部 敏教授)が4月2～4日の3日間にわたり、湘南キャンパスで開催された。特別講演・一般講演等500題を超える発表があり、参加者数も1500人に及んだ。

本大会では、初めての企画として一般市民および学生に公開でパネルディスカッション「食品と感染病をめぐる最近の話題」が行われた。

角笛会会長賞に草野・徳永両君

学業成績・人物ともに優れている卒業生(男女各1名)に贈られる角笛会会長賞が、草野寛一君と徳永有喜子君の両君に贈られた。受賞は、去る3月26日に横浜メルパルクで行われた獣医学科の謝恩会の場を借りて日比野次郎会長から両君に賞状と記念品



草野 寛一君



徳永有喜子君

が手渡された。

獣医学科の近況

○獣医師国家試験

第48回獣医師国家試験の合格発表が3月19日に農林水産省からあった。本学の合格者は151名、合格率は94.4%で全国平均の85.5%を大きく上回った。

○退職

太田亨二先生(研究所教授)が定年により平成9年3月末日をもって退職されました。また、渡辺翼助教授(魚病学)と木島由美子副手(獣医薬理学)は3月31日付で退職されました。

○昇格

鎌田寛先生(獣医微生物学)が助教授に昇格されました(平成9年4月1日付)。

○訃報

山浦煌一教授(獣医ウイルス学)は平成9年5月26日、胸部大動脈瘤破裂のため急逝されました。享年58歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

* * *

近年、女子学生の増加に伴い、就職先に小動物臨床の勤務医を希望する学生が増えています。会員各位からの求人は学部の就職指導課ならびに6年次担任(吉田教授・大場専任講師)までお寄せください。

(金山 喜一)



湘南キャンパスで開催された日本獣医学会

満喜葉会

◇畜産学科・動物資源科学科◇

連絡先 飼養学研究室
0466-84-3659 小牧 弘

満喜葉会創立50周年

記念式典・祝賀会を開催

昨年度より満喜葉会創立50周年記念事業委員会(平成8年6月1日発足)が中心となって活動が続けてきた本会の創立50周年記念式典が、平成9年5月17日、生物資源科学部湘南校舎第二講義室にて、会員・来賓の方々など200余名の出席を得て開催されました。式典は、平田芳弘満喜葉会会長の挨拶に始まり、来賓を代表として茂澤稔農獣医学部・生物資源科学部校友会会長、門田定美生物資源科学部長よりご祝辞を賜りました。また、畜産学科に在職し、学生の教育・研究に多大なご貢献をされた吉田重雄先生、姫野健太郎先生、佐久間勇次先生、太田亨二

先生、並びに永年に亘って本会の発展にご尽力戴いた倉田裕司氏(昭和25年卒)、木村榮一氏(昭和26年卒)、橘重夫氏(昭和23年卒)、中西五十氏(現学科学主任・昭和33年卒)に感謝状が贈呈され、式は滞りなく終了致しました。

式典終了後、場所を湘南校舎NUSCホールに移し、記念祝賀会が盛大に行われました。来賓の方々による鏡開き、大学院畜産学専攻主任森地敏樹教授のご発声による乾杯の後、会場のいたるところで校友の学生時代の懐かしい話、恩師との再会を喜ぶ姿やお互いの近況報告、写真撮影などが多く見られました。途中、玉川アルプフォルンクラブによる演奏や抽選会等のアトラクションも加わり、祝賀会は予想以上に盛り上がりしました。和気藹々とした中で祝賀の宴は終了しましたが、かなりの方々が処を変え同期会を開き、更なる懇親を深められたようです。記念式典、祝賀会へご出席下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。

満喜葉会役員会を開催

平成8年の会則改正において、本会の活性化を目指すために設けられた理事会と幹事会の合同による役員会が、平成9年4月26日、湘南校舎第一会議室にて開催されました。役員会では、平成8年度事業報告並びに会計決算報告が事務局より、監査結果が会計監事より報告され承認されました。また、平成9年度事業計画並びに予算案について事務局より提案され、審議の後、原案通り承認されました。



学科の状況



平成9年3月31日付で長谷川理恵副手(飼養学研究室)が退職されました。後任として、平成9年4月1日付で丹羽佳苗副手(写真)が採用されました。丹羽佳苗副手は、平成9年3月25日本学学畜産

学科を卒業、現在、生産環境学研究室に所属され、飼料学実験等の実験・実習補助をされています。また学科庶務係や大学院関係の事務も担当されています。

元畜産学科教授で学科主任・大学院専攻主任も勤められた大西靖彦先生が去る平成9年1月8日逝去

されました。心よりご冥福をお祈り致します。

本年度の学科主任・大学院専攻主任の改選が行われ、学科主任には中西五十教授が、専攻主任には森地敏樹教授が選出され、4月1日付で就任されました。

昨年著しく増加した本学科への入学志願者数は、昨年度より更に約1.29倍増加しました(一般入試1263人から1623人へ)。昨年度からの学科名称変更を受験生は敏感に受け取っているようです。また、在籍学生の女子の比率もここ数年約65%にまで増加しています。しかし、学生、特に女子学生を取り巻く就職は極めて厳しい環境にあります。これに関する情報等がございましたら、事務局までご連絡下さる様、会員各位のご協力をお願いいたします。

(山室 裕)

いもづる会

◇食品経済学科◇

連絡先 食生活経済論研究室
03-3421-5654 安村 碩之

平成9年度幹事会・懇親会を開催

いもづる会幹事会・懇親会が、去る6月7日(土)午後4時30分より生物資源科学部東京校舎で開催された(写真掲載)。幹事会出席者数は、正会員30名、

準会員13名で、懇親会は学科教職員を含め約50名の出席者をもって盛会裡に終わった。この幹事会において「いもづる会基金規定」の見直しと「50周年記念事業」の内容、予算、実行組織、記念式典・祝賀会の開催日などが確認された。記念式典・祝賀会の開催日と会場は、つぎの通りである。

いもづる会50周年記念パーティー

開催日：1998年6月6日(土)

会 場：ダイヤモンドホテル(地下鉄半蔵門線
・半蔵門駅下車)

藤桜祭への参加—国産牛の丸焼き—

いもづる会は、昨年秋に開催された学部祭(藤桜祭)に、国産牛の丸焼きを企画し参加した。このイベントは、第24期卒の高野浩臣副会長を中心に開催され、校友、在校生、そして地域の方々およそ100名が一頭の牛を囲み、日が暮れるまでバーベキューを楽しみ、交流を持つことができた。このような同期生などの企画による学部祭への参加を希望の方は、事務局までご連絡下さい。

学科 よもやま話

今春、食品経済学科は139名の新入生(うち47名が女子)を迎えた。いもづる会が学科との共催で始めた、学部初の学科就職セミナーは今年、東京校舎の4学科合同就職セミナーへと発展し、4月22日(火)に例年通り開催され、50数社の企業の参加を得た。就職セミナーは、来年度も予定されており、1社でも多くのOB企業の方々にも参加して頂きたい。4月26日(土)には、新入生歓迎研修会を開催

し、学科対抗運動会連覇に向けて、プレ運動会を行なった。運動会本番では、1年次担任を中心に学生、教職員が一丸となって頑張ったが、残念ながら6位(優勝：食品科学工学科)に終わった。

今年で6年目を迎える3年次開講の特別講義は、わが国最大のファミリーレストラン「すかいらーく」の創業者であり、現会長の横川端氏をはじめ多くのスタッフを招き、9月8日(月)～10日(水)の3日間実施された。

6号館に分散していた学科研究室と統計資料室は、すべて2号館に集中しました。ご来校の節は研究室の場所を確認して下さい。

討 報

当学科の専任教員として21年間にわたり学科発展にご尽力いただき、1985年3月に定年退職されたいもづる会名誉会員の山口哲夫先生が脳梗塞のため、1997年7月12日(土)に永眠されました。享年78歳謹んでご冥福をお祈りいたします。

(木島 実)

あすなろ会

◇林学科・森林資源科学科◇

連絡先 木材科学・工学研究室
0466-84-3668 濱本 和敏

平成9年度あすなろ会幹事会を開催

平成9年6月21日(土)午後5時より日本大学会館において平成9年度あすなろ会幹事会が開催された。

当日は各期の幹事約25名が出席し、平成8年・9年度の事業経過報告、会計報告等が行われた。また、平成9年、10年度の事業計画等が討議され、本年開催される、森林資源科学科(旧林学科)創設50周年およびあすなろ会(旧林学科校友会)創立45周年記念事業に関する具体的な日時・場所等の案が記念事業委員会より提案され、下記の通り承認された。

期 日 平成9年10月17日(金)

会 場 ホテルパシフィック(メリディアン東京)
東京都港区高輪3-13-3

(Tel03-3445-6711)

J R線 品川駅正面

総 会 16:30より

記念祝賀会 18:00より

会 費 10,000円(記念品代含む)

また、記念樹として、一昨年定年退職された佐々木憲雄先生よりオガタマノキが寄贈され、湘南キャンパス10号館近くに植栽された旨の報告があった。

全ての議事終了後、和やかな雰囲気の中、懇親会が行われた。

なお、記念祝賀会に関する詳しいご案内等は、後日郵送させていただきます。この件に関するお問い合わせは、あすなろ会事務局の濱本までお願いいたします。

平成8年度あすなろ会会長賞受賞者

平成8年度あすなろ会会長賞に下記の6名が決定し、平成9年3月25日横浜インターコンチネンタルホテルにおいて行われた謝恩会にて、鹿野会長より記念品が贈られた。

尾上綾子(森林・緑地造成ゼミ 林野庁)

小池達夫(林業経営ゼミ (株)斎藤組)

湯原晶子(木材科学・工学ゼミ 藤造園建設(株))

中村誠司(森林・緑地保全ゼミ 高知大学演習林)

齋藤憲弥(森林動物ゼミ 財団法人横浜市緑の協会)

山本こずえ(住宅・流通ゼミ 林野庁)

新入生歓迎会が開催される

平成9年度森林資源科学科新入生歓迎会が5月31日の学部運動会終了後、湘南キャンパス食堂棟2階において行われた。昨年の運動会に引き続き3位という好成績を収めた後だけにうちとけた雰囲気でも盛り上がり、学生相互はもちろんのこと教員との親睦もより深まった。なお、あすなろ会から飲み物をご提供いただいた。



学科の近況

平成8年10月1日、佐々木恵彦教授(林木育種学研究室)が着任された。佐々木先生は東京大学名誉教授で農学部長を務められた。さらに、平成9年4月1日、塚本良則教授(森林環境保全研究室)が着任された。



佐々木恵彦教授



塚本良則教授

塚本先生は東京農工大学名誉教授で農学部長を務められ、昭和53年から平成4年まで非常勤講師として本学科の教壇にも立たれた経歴をお持ちです。また、井上公基先生(住宅・木材流通研究室)が本年4月より助教授に昇格され、同研究室の堀江亨先生も専任講師に昇格された。先生方のますますのご活躍が期待される。なお、長年に亘り学科の発展にご尽力下さった難波宣士先生(森林環境保全研究室)は、平成8年11月4日をもって定年退職された。今後ともご健康でご活躍されますことをお祈りいたします。

事務局より

前報でもお願いいたしましたように、会員の動向を的確に把握するため、住所変更、氏名の変更等がございましたら、お手数でも事務局までご連絡下さい。また、今後の本校校友会活動をより円滑に行うため、すでにご案内済みの終身会費納入にぜひご協力下さいますようお願い申し上げます。

(宮野 則彦)

桜 水 会

◇水産学科・海洋生物資源科学科◇

連絡先 水産生物学研究室
0466-84-3677 小橋 二夫

秋の気配を感じる季節となりましたが、校友諸兄姉には益々清祥にてお過ごしのことと拝察いたしております。

毎年のことながらこの季節になると校友会報原稿のネタ探しで右往左往する始末ですが、今年は6月から台風が関東地方に上陸あるいは接近しかも土日にかけて襲来するなど、また冷夏の予報を覆して猛暑が続いたと思ったら突然寒くなったり、変な日々の連続でした。この原稿を書いている最中に、ダイアナ元妃の訃報が飛び込んできたりもしました。

平成9年度総会・懇親会のお知らせ

10月25日(土)に開催

今年の4月から数回にわたって理事会が開催され、今年度は評議員会と総会・懇親会を分けて開催することになりました。評議員会は7月12日(土)に東京校舎第一会議室にて開催され、平成8年度事業報告・決算報告がなされ、さらに平成9年度事業計画案ならびに予算案をそれぞれ承認致しました。学科名称変更にもとない、桜水会会則の一部改正も討議され、評議員会終了後、学生食堂でささやかな会食を行いました。当日は台風の余波で大雨となってしましましたが、雨の中を出席して下さった評議員の皆様には御礼申し上げます。

総会・懇親会は10月25日(土)に学部祭(藤桜祭)に合わせて開催することになりました。後ほどご案内が届くと思いますが、後輩達の活動、藤沢キャンパスの充実ぶりを見ながら総会・懇親会に出かけてみようかと予定を組んで頂きたいと存じます。

水産学科創立50周年記念への協賛

水産学科は今年創立50周年を迎えました。学科として来年5月に記念祝賀会を企画しており、桜水会でもその行事に協賛することになりました。詳細が決まりましたらご案内致しますのでふるってご参加願います。

学科の動向

本年4月に清水誠先生が教授として海洋生物資源科学科に赴任されました。先生は一昨年まで東京大学農学部教授として、また日本水産学会長として日本の水産研究の方向づけをなされた方で、今後本学科の発展に大いに力を発揮して頂きたいと期待して

おります。

廣瀬一美教授(11期卒)は永年にわたって中国の魚病研究の発展に貢献した功績によって大連水産学院から名誉教授の称号を授与されました。

出口吉昭教授(1期卒)が日本水産増殖学会長に選任されました。それに伴って学会事務局が本学科内に移転し、庶務幹事吉原喜好、青野英司、会計幹事森友忠昭(獣医学科)、編集委員長杉田治男で3年間学会運営を行うことになりました。また学会誌編集委員として学科の多くの先生にご協力頂いております。

昨年5月に退職された余座和征前助教授(11期卒)が本年2月に京都市内の病院で肝臓癌のため死去されました。ご冥福をお祈り致します。

景気は回復傾向にあるとの見解が時々政府筋から発表されておりますが、学生の就職状況を見ますとまだまだの感があります。校友諸兄姉には後輩達の就職についてもお骨折り頂ければ幸いです。

今年1年間の桜水会・学科の動向をお知らせ致しました。卒業生諸兄姉には益々ご健勝にてお過ごし頂けるよう記念致しておりますが、校友会活動にも積極的にご参加下さるようお願い申し上げます。

生物試料採集船「すざき2世」

下田臨海実験所生物試料採集船「すざき2世」

建造 平成5年6月

長さ11.05m、幅3.38m、深さ1.32m、ディーゼル120馬力、総トン数9.1トン、最大速力27ノット

搭載機器 GPS、レーダー、トラッキングレコーダー、カラー魚探、潮目計、6mmステンレスワイヤー1000m巻きウインチ、ラインホーラー等

現在、下田臨海実験所で実施されている海洋環境学実験、漁業学実験、水産学実習、理工学部の海洋学実習、漁業生物学研究室で行っているマダイの音響馴致実験で使用、さらに水産資源情報学研究室と海洋学研究室が共同で行っているキンメダイ漁場海洋環境調査では毎月2回伊豆七島の利島沖まで出かけて海洋観測、漁獲調査などを行っている。



写真はマダイの音響馴致実験で筏を横付けにして実験所近傍の田の浦湾に係留されている「すざき2世」

(吉原喜好)

工 学 会

◇農業工学科・生物環境工学科◇

連絡先 測量準備室
0466-84-3757 斎藤 公三

総会・懇親会開催される

村田会長の「ささやかな会でも毎年、継続的に総会と懇親会を行おう」という主旨に基づき、平成8年度の総会および懇親会は11月30日、15時より湘南

校舎（旧藤沢校舎）において開催された。総会では議長選出の後、一般経過報告が行われ、続いて平成7年度の決算報告、平成8年度の事業計画、予算案が満場一致で承認された。この後、16時30分よりNUSCホールで斎藤事務局長の司会のもとに懇親会が行われ、和気藹々とした中で会は終了した。例年のごとく、場所を変えて懇親を深める会員の方が多々見うけられ、有意義な1日を過ごされたようです。なお、本年も昨年と同じ頃に、総会並びに懇親会を行う予定ですので、会員の皆様ふるってご参加ください。



盛大に開かれた懇親会

平成9年度理事会・役員会を開催

本年6月21日13時より、湘南校舎第1会議室で平成9年度の理事会が、続いて14時30分より役員会が行われた。平成8年度の一般経過方向のあと、平成8年度決算報告がなされ満場一致で承認された。また平成9年度事業計画および予算案の審議が行われ、これも承認された。その他、湘南校舎で7月に行われる農業土木学会大会に、また9月に行われる農業機械学会関東支部大会に工学会も協力する事が決議された。

学科の動向

本年4月より、木谷 収教授が着任され、生物環境調節工学研究室で活動されています。東京大学在職中、先生は農業機械学会会長、システム農学会会長、国際農業工学会（CIGR）アジア代表を歴任されています。現在はエネルギー、環境制御機械、木谷 収教授システムを中心とした研究を推進すると同時に、学術活動では国際農業工学会（CIGR）会長、日本学



木谷 収教授

術会議員、農業情報利用研究会会長としても活躍されています。先生の今後の大いなる活躍を期待する次第です。

宮本眞吾専任講師が日本大学長期海外派遣研究員として米国のジョージア州立大学へ1年間留学されていましたが、無事帰着されました。この経験を生かし、先生の更なるご活躍を期待したいと思います。

また、本年4月より、学科主任に河野英一先生が就任されています。

事務局より

現在、会員の名簿作成作業を進行させています。しかしながら、住所不明の方がかなりいることも周知の事実となっております。これを解消すべく事務局はいろいろな対策をしてみましたが、皆様の御協力なしではこれ以上の効果が期待できない状況になってまいりました。従いまして、お手数とは思いますが、住所変更された方、ならびに先輩や同輩の方で住所の変更をされた方をご存じで事務局にその旨をどうも知らせていないのではないかと思います。人がいましたら、お手数でもご連絡下されれば幸いです。会員皆様の御協力を期待しております。

（川西啓文）

F T 会

◇食品工学科・食品科学工学科◇

連絡先 食品理化学第3研究室
03-3421-6075 竹永 章生

学部運動会で優勝

平成9年5月31日に行われた学部運動会で食品科学工学科は20年ぶりに優勝した。当日は天候が危ぶまれたが、快晴のもと、食品科学工学科は各競技で優秀な成績を収め、2位以下に大差をつける堂々としたものだった。なお、校友会は昨年からの応援のためにと団扇を提供し、運動会を一層盛り上げた。



新任教員紹介



中村 良教授



山崎真狩教授



木本直美副手

食品科学工学科に中村 良研究所教授（食品製造学研究室）、山崎 真狩教授（食品保蔵学研究室）および学科事務として木本 直美副手が加わりました。

〔新任の先生から一言〕

◇中村先生 私は昭和29年に東京大学農学部農芸化学科を卒業し、同年9月に名古屋大学農学部の新設された畜産製造学講座の助手になり、研究生生活を始めました。当時の研究室の主要なテーマが鶏卵の化学とその利用であり、私は卵白の泡立ち性について分子レベルから究明する機会を持つことができました。その後、学部の改組により研究室名が食品製造化学講座に改められると共に、研究の対象も乳、肉、卵という畜産物に限定することなく、植物性食品も含めた広い意味での食品蛋白質の特性研究に発展していきました。さらに教授となつてからは、食品の機能という問題に興味を持ち、植物アレルギーやアレルギー低減化食品の開発などの学際的研究にも手をつけてきました。本学においては、再び蛋白質を

中心として畜産物の研究をすることになると思いますが、これまでの経験を生かして食品化学の研究が一層発展するよう努力していきたいと思っています。

◇山崎先生 私は昭和40年に東京大学大学院化学系研究科農芸化学専門課程博士課程を修了し、直ちに有馬啓教授が主宰する東京大学農芸化学科発酵学講座の助手に採用されました。昭和45年、田村學造教授主宰の新設講座、同学科微生物学講座に助教授として移籍し、以後平成8年の定年まで約26年間同講座に所属しました。この間、微生物有用酵素の探索・応用、分子生物学的手法による大腸菌、枯草菌の基礎微生物学、動物培養細胞を用いての免疫系並びに神経系の微生物由来生理活性物質の探索と作用機作、酵母菌における蛋白質の細胞内輸送・分泌など、手法的にも研究領域的にも可成り幅広い研究をしてきました。本学では食品微生物学に限定して研究を進めたいと思っていますが、調べてみると色々面白そうなテーマがころがっておりわくわくしています。たとえば大腸菌O-157は奇妙にも大腸菌と赤痢菌の中間的な性質を示すので本菌の生因を調べたいと思っています。

事務局より

学部校友会が設立50周年の記念事業として会員名簿を発行することになりました。F T会でも名簿の修正を行います。記載事項の変更があった方およびご友人で会報などが届かない方がおられましたら、事務局までご連絡いただければ幸いです。（阿部 申）

拓 友 会

◇拓植学科・国際地域開発学科◇

連絡先 経営学研究室
03-3421-6437 早川 治

拓友会50年・学科60年 記念事業準備進む

本年は拓友会が昭和22年に結成されてから50周年、学科が昭和12年に創立されてから60周年という記念すべき年です。

そのため記念事業が計画され、昨年度の総会で委員会が結成され、現在活発に活動しております。

その活動は次のとおりです。

- (1) 記念式典及び祝賀会の開催
- (2) 記念誌の発行
- (3) 拓友会名簿の整理
- (4) その他

この事業の現在の進捗状況についてお知らせします。

1. 記念式典及び祝賀会の開催

この会報と同時にあるいは前後して、拓友の皆様並びにご関係の皆様のもとに開催通知、招待状が発送されることになっております。また日時・場所は次の通りです。

日時：平成9年11月8日（土）

午後3時30分～5時（記念式典）

午後5時 ～7時（祝賀会）

場所：京王プラザホテル（新宿）

47F「あけぼの」の間（記念式典）

47F「おおぞら」の間（祝賀会）

2. 記念誌発行

記念誌編集委員会では、記念式典に間に合うように、現在最後の編集段階にあります（8月24日現在）。

多くの拓友に原稿を依頼し、また写真の提供もお願いしてほとんどの頁に写真を載せることができそうです。グラビアなど含め、300頁ほどの立派な記念誌ができあがると思います。

この本は拓植科・拓植学科の歴史が網羅された形になりました。国際地域開発学科の名称変更したのになぜ「拓友会」という将来起こりそうな問題に対して十分答えることのできる「資料」としての価値を持つものになると考えられます。予約販売ですので希望の方は事務局へお申し込み下さい。

3. 拓友会名簿の整理

戦後の拓植学科の卒業生を中心に名簿の整理を行っています。第11期生（昭和40年卒）～第13期生（昭和42年卒）及び平成になってからの拓友のほぼ全員の消息を事務局で把握することができました。

最も学生数の多かった昭和40年代後半から60年代の拓友の消息がなかなかつかめません。同期会等を行っている期などがあると思われますが、事務局まで情報が届いておりません。同期会等が開催されますときに幹事の方、是非事務局にご一報いただくようお願いいたします。

総会に代わる幹事会開催



以上のように本年は記念式典・祝賀会が行われるため、総会に代わる幹事会が6月14日（土）に開かれ、平成8年度行事報告・決算、平成9年度行事計画・予算について審議が行われ、原案通りすべて可決されました。

平成8年度拓友賞は村上・平塚両君に

平成8年度の拓友賞は村上義孝君と平塚泰亮君に決まり、湘南校舎で行われた卒業式の学科証書伝達式の中で拓友会の紹介とともに表彰・授与が行われました。この賞は学生時代の成績・活動などとともに今後の拓友会の活動に積極的に参加、行動することを期待して授与されるものです。両君のこれからの活動に期待いたします。

学科の動向

新学期主任として山田三郎教授が選ばれました。今後のご活躍を期待いたします。

林幸博先生が助教授に昇格されました。ますますのご活躍を期待いたします。

（緒方 行広）



むつあい会

◇短期大学部農学科◇

連絡先 植物生体制御学研究室
0466-84-3745 楠元 守

総会・懇親会を開催

平成9年度むつあい会総会並びに懇親会は、6月14日(土)15時より湘南校舎で開催された。

総会は、本館第一会議室で開催され、富樫利男副会長の開会の辞・富沢寿樹会長の会長挨拶に続いて、議長に野村健作氏(4期)を選出、平成8年一般経過報告及び事業報告を楠元事務局長が行い、報告通り承認された。さらに平成8年度会計報告と、滝沢章監事の監査報告があり、報告通り承認された。また、平成9年度予算及び事業計画も原案通り承認された。

総会終了後約1時間にわたり、パラグアイのJICA試験場より帰国された斉藤忠雄氏(4期)のスライドを利用した南米事情についての大変興味深い講演があった。また、同地で活躍している校友等の情報もあり、1時間があっという間に過ぎてしまった。

講演終了後、直ちに恒例の懇親会が開催された。

門田定美学部長が出張中のため、来賓として、学部を代表して有賀豊彦学務担当をはじめ、農獣医学部・生物資源学科学部校友会会長茂澤 泉氏とともに各分会会長、短期大学部農学科の諸先生のご出席をいただき、また、会員及び準会員(在学生)の多数のご出席により、懇親会は盛会裡に終了した。

懇親会の中締の挨拶で、岡元哲郎副会長が来年度はさらに多数の会員に出席していただき、今年より盛大な懇親会になるよう努力しますと宣言しましたので、会員各位におかれましては、ご多用とは存じますが、総会がさらに盛大に開催されるように、多数の皆様のご出席をお願いいたします。

なお、経費節減のために総会のお知らせは会員個々にはせず、むつあい会会報の最後のページ(8ページ目)に、囲み記事として掲載することが一昨年より決定・実施されましたので、むつあい会会報が届きましたらご確認の上、ご出席下さい。

学科の近況

農学科では、3月に58名(46期)が卒業して正会員となり、4月に61名の新入生を迎えた。2年生は65名で、合計126名が在籍している。本学科では、新しい時代の流れや学生のニーズに対応するために、昨年の入学生からカリキュラムを変更するとともに、植物生産環境コースと植物細胞工学コースに名称を変更して1年が経過し、いよいよ今年は新カリキュラム完全実施の年となりました。

1年生は武田恭明教授、2年生は安斎 寛・助教授が担当で、人事には変更はありません。



研究農場へ初出場(2年生・準会員)

事務局から

会員総数は、2,817名となりました。住所変更・結婚などによる改姓等があった方は、ご面倒でも事務局までお知らせ下さい。

(楠元 守)



生活環境学科校友会

◇短期大学部生活環境学科◇

連絡先 環境科学研究室
0466-84-3750 飯塚 統

平成8年度校友会・懇親会

11月22日(金)午後6時半より恵比寿ガーデンプレイス・ピアホーフ麦酒館にて開催されました。茂澤学部校友会会長以下、各分科会会長10名、短期大学部教員8名、会員100名を越える出席者により、事業、会計の報告、計画など年次総会の議事は満場一致で可決されました。

引き続きの懇親会では、写真のようにどの分科会よりも若く美しい会員多数が旧交を暖める華やい風景が見られました。



恵比寿麦酒館での懇親会の華やき

校友会在校生(準会員)へのプレゼント

ここ数年間、慣例になっていることですが、生活環境学科の新入生には軽井沢研修に際しレクリエーションの費用5万円の補助、さらに5月末の学部運動会に生活環境学科独自のプリントをしたおそろいのTシャツを学科校友会から贈っています。また学生諸君の卒業、すなわち校友会正会員になられる時には生物資源科学部からの記念品のほかに、学科校友会からも歓迎の記念品を贈っていますが、この数年は紅い薔薇を添えて各自の姓のスタンプ式の印を用意し、喜ばれているようです。

学科の近況

学外研修

住環境コースでは従来と同じく京都奈良などの歴史的建築物や庭園を見学する研修が数次に分けて行われました。

食生活コースの学外研修は平成8年度は「沖縄の食文化の見学」とし、冬休み期間の初めに2泊3日で実施しました。沖縄の歴史の解説にも熱心なバスガイドに首里城から予定外の「安保の見える丘」まで案内される一方、沖縄県試験場の食品研究室々長からの沖縄の伝統食品について広範な講義を受け、昼も夜も伝統料理を食べ、那覇市の公設市場で豚の



軽井沢研修所講堂で教務関係のガイダンス

顔も売られているのを見、黒砂糖工場、泡盛工場、植物園などを見学しました。

122人(うち男子15人)の新入生を迎えて、例年と同じく一泊二日の軽井沢学外研修を4月下旬に行いました。2年生25人が企画、運営し、教職員全員と教務課職員2人も同行して懇切丁寧なガイダンスが行われました。

技能検定試験ほか

従来と同じく島田正文、飯尾 満、青山友雄、坂本都子各助教授の指揮下に学内で製図、コンピューター、英語の検定試験が行われ多数の合格者を輩出しました。

近年の卒業生を講師に招いて行う学科の就職セミナーが今年は5月10日に催され、9人の卒業生の誰もが頼もしく自信にあふれて就職活動をする後輩のために職業経験を話して下さいました。

卒業生の進路状況

就職氷河期といわれながらも日本道路公団、大成建設、伊那市の実家に帰って伊那食品工業など、それぞれの希望をかなえて33人が就職しました(卒業生名簿掲載時点)。

進学に関しては、近年国立大学でも編入学生の受入が多くなり、当学科卒業生の進学先も多様化してきました。平成9年3月の卒業生のうち38人がキャンパスを同じくする生物資源科学部へ進学した一方、日本大学他学部3人、新潟大2人、東京農大、京都工芸繊維大、岡山大、茨城大、信州大、杏林大、宇都宮大、福島大、大阪芸術大各1人が進学しました。この他に専門学校進学者や外国留学予定者もいます。

このことは当学科に限らず、短大卒業生が専門学校を含めた多様な進学先を選ぶ時代になったと新聞記事にも取り上げられる一般的な現象のようです。18才で自分の専門を決定しかねる学生にフレキシブルな進路を与えることができる、短大のメリットのひとつです。

事務局より

平成9年度総会、懇親会は11月21日(金)に横浜中華街で開催の予定です。おって各自にご通知いたしますので、会員多数のご参加をお願いします。

姓が変わった方、転居された方は新住所、新姓をぜひ飯塚教授にお知らせ下さい。(大川いづみ)

応用生物科学科校友会

◇応用生物科学科◇

連絡先 分子微生物学研究室
0466-84-3705 中嶋 睦安

B S 校友会会員の皆様へ

応用生物科学科(BS)校友会会長の太谷です。まずはじめに、平成8年度(第5回)紙上総会について、ご承認いただきましてありがとうございます。

さて、平成9年度(第6回)の総会・懇親会は、次にお知らせ致しますように、平成9年10月18日(土)を予定致しております。今回の総会では、前回の校友会報(第49報)でも提案致しました会費徴収時期の問題など、今後の校友活動のための運営に係わることにについて、特に議論致したいと考えております。本校友会は、発足してまだ6年目で、会長をはじめ若輩者の集まりですから、気がねなく意見を交しやすい環境にあると思っております。今後の校友会発展のためにも、会員の皆様の多数のご参加により、活発な討論ができればと考えております。

第5回総会の開催について

ご承知の通り、本応用生物科学科校友会は、平成7年度(第4回)総会におきまして総会開催時期を春季から秋季に変更することが決定されました。そ

のための措置として、今春の、平成8年度(第5回)総会は、紙上形式により行わせて頂きました。会員の皆様には、平成8年度事業報告書、会計決算報告、および平成9年度事業計画、平成9年度予算案に関する案件についてご報告申し上げ、ご承認を頂いた次第です。

次回の、平成9年度(第6回)総会は、来る10月18日(土)14:30より、湘南キャンパス/第一会議室において、開催を予定致しております。多数の会員の皆様にご参加下さいますようご案内申し上げます。

校友会の現状と行事予定

本校友会会員は、今春、平成8年度の卒業生138名を新たに迎え(写真)、846名となり、数的にも校友会としての形ができて参りました。なお、準会員の応用生物科学科在籍学生数は、現在558名で、学年別には4年次生129名、3年次生151名、2年次生150名、1年次生128名となっております。

今年度の校友会活動としては、恒例の研究室対抗ソフトボール大会(第5回)の開催を、例年通り10月10日(金)の体育の日に、湘南キャンパスグラウンドで予定致しております。この大会は、会員(卒業生)の皆様の参加も可能となっておりますので、是非ご参加頂き、出身研究室に戻って後輩たちと楽しい一日をお過ごし頂きたいと思っております。



学科の近況

ご存じの通り、学科は8研究室で構成されております。現在、スタッフは17名ですが、今春、移動がありましたのでご報告致します。

和気朗教授(動物細胞学研究室)は、本年3月、定年により退職されました。先生は現在病氣療養中ですが、順調に回復に向っておられると伺っており

ます。和気先生の後任には、佐藤嘉兵教授(生体制御科学研究室)が戻られ、主宰されることになりました。

内山寛先生(植物細胞学研究室)は、本年4月、専任講師に昇格されました。同じく、本年4月、新井直人氏が、新たに核酸科学研究室の助手として着任されました。ご活躍を祈念申し上げます。

(太谷 憲司)

支部だより

大阪支部ゴルフコンペ

平成9年3月27日 第9回日本大学農獣医学部校友会大阪支部ゴルフコンペが三重県名張市のグリーンハイランドカントリークラブで開催されました。



参加者は倉田裕司大阪支部顧問はじめ尾崎恒明支部長以下12名で先輩後輩入り乱れ和気藹々と一日プレーを楽しみました。

成績は次の通りです。

- 優勝 寺田次男 (S23年畜産卒)
- 2位 宮本保幸 (S48年獣医卒)
- 3位 千葉俊胤 (S38年畜産卒)

連絡先 茨木市松ヶ本町5-38
TEL 0726-53-1726 野口 健一

(支部長 尾崎 恒明)

山梨県支部の近況



平成7年11月11日の校友会山梨県支部設立10周年記念総会並びに懇親会には、茂澤校友会長、門田学部長、木村事務局長、他多数の先生方のご出席を賜わり誠に有難度うご座居ました。厚くお礼を申し上げます。

山梨県支部はその折、役員が大幅に代りまして、理事は相談役遠藤晴正、県支部長小越昭雄、副支部長瀬戸昌承、廣瀬恭平、理事齊木邦雄他26名、計31

名となりました。そして会員数は大正初期から平成9年卒の会員で700余名となりました。

次に校友会県支部会員名簿の発行ですが、平成8年4月の理事会の決定に基づき事務局を中心に編集作業に当りまして、8月発刊の運びとなりました。この編集に際しましては木村事務局長、校友会本部等、多くの方々のご指導を戴きました。重ねてお礼を申し上げます。会員名簿は山梨県出身者、山梨県勤務者等を基本として編集を致しました。

最後に県支部総会の開催についてですが、新事務局として初めての総会を本年11月29日に石和で実施する予定です。今後共、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

連絡先 山梨市下神内川187-1
TEL 0553-22-2400 小越 昭雄

(支部長 小越 昭雄)

高知県支部の総会



第9回日本大学農獣医学部高知県支部総会は、平成9年8月9日台風12号の影響で前線が刺激され局部的にわか雨の降る空模様の中、高知市より西に20km離れた、漁業の町宇佐(萩の茶屋)において、学部より濱本教授(林学科)の御臨席を戴き1時より会員12名が出席し総会が開催された。支部会長長崎会長より会員相互の輪も少しずつ拡充されつつある中10周年に向けて一層の充実を計りたい。濱本教授から学部の名称の変更等の動向報告、総会議案において、1号議案事業経過報告及び議決事項。2号議案決算報告。3号議案活動方針及び予算。について原案どおり可決され、活動方針について創立10周年には多数の先生方を迎えるに当たり、会員及び準会員の参加協力を得ることを確認して閉会した。

続いて、懇親会に入り漁業の町での飾りつけのない豪快な海賊料理・珍しい流れこ入りの貝めしと土佐料理で欠かせない、切れの大きい鰹のたたきとさしみを口いっぱい頬張り二時間の懇親会を校歌で閉じた。

「よさこい祭り」の前夜祭りが行われる、高知市に場所を変え、明日よりこの一帯は鳴子のリズム乱舞する126チームの中に、我が日本大学チームも今回で出場回数9回目80人がサンバ調を主体に桜カラーのピンクの法被姿で城下で乱舞する話に夜遅くまで盃を傾けた。

支部会長 長崎収夫（獣医学科31年卒）

〒780 高知市五台山4431-40

TEL 0888-84-3651

高知県支部会員総数220名

連絡先 〒780 高知市高須1716-88

TEL 0888-82-8378 中西 孝彦

山形県支部の近況

今年の山形県は、今のところ大きな自然災害もなく、稲作の作況指数も全県的に100と発表されています。

山形県農獣医学部校友会が東京本部総会で認任されて、5回の総会を終了致しました。

毎年10月～11月に幹事会（会長・副会長を含め各学科代表で構成）が招集されて、総会の準備が行われます。

平成8年度総会は、平成9年2月15日一泊で上ノ山温泉で開催されました。毎年40名位の会員が出席します。



本年度総会は、空席だった副会長に木戸啓二氏（農28卒）会計監査に山口忠（食品34卒）が選任されました。

総会時に、慣例となった講演会に、8年度は農化の当番で、(株)でん六の植松恒美氏（農化院卒）をお願いし、演題「落花生油脂とアミノ酸」。氏の講演内容は諸外国の落花生事情について話され大変興味のあつたものでした。



懇親会は、会長田中氏のあいさつ、木戸副会長の乾杯で始まり、毎年一泊ということもあって有意義なもので、閉会は、日大節・校歌を大合唱で旅館内を轟かし二次会と散会しました。

連絡先 山形市東原町4-19-4

TEL 0236-23-4507 田中 恒一

（幹事長 安達 勇）

総会・懇親会を11月22日開催

神奈川県支部農獣医部会

神奈川県下に在住される農獣医学部、短大農業科、生活環境科卒業の校友の皆様、お褒めありがとうございます。お伺い申し上げます。

農獣医部会は昭和53年に発足してから今年で20年になろうとしています。その間いろいろな事がありましたが、佐々木弘康会長の大変なご尽力のお陰で現在の隆盛を維持できているということでもあります。また、会員各位のご協力の賜物と心から感謝する次第です。

つきましては、11月22日（土）日本大学生物資源科学部湘南校舎において農獣医部会創立20周年を記念して平成9年度の総会・懇親会を開催します。

当日は20周年の特別企画を考えており、アトラクションとして福引大抽選会や高級果実・肉製品のオークション等も計画しておりますのでお楽しみ下さい。

ご婦人同伴も歓迎致しますし、若い会員の方々にも是非ご出席頂きたいので会費を下記の通り割引致します。

記

日時 平成9年11月22日（土） 総会 17時
懇親会 18時

会場 日本大学生物資源科学部湘南校舎

会費 1) 会員 8000円
2) 同伴者 5000円
3) 平成7、8、9年次卒業生 および在学生 5000円

連絡先 藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部

動物資源科学科 草地学研究室

事務局長 中西 五十

TEL 0466-84-3652

会報第50号のあゆみ

会報編集委員長 富澤 寿樹



校友会会報第1号が1948年（昭和23年）に発行されてから半世紀になり本年50号記念の会報を発行する運びとなりました。

第1号から欠かさず号を重ねることができたのは、各年代にこの編集に携わって下された歴代の委員の方々、また各分会の編集委員の方々のご協力にほかなりません。なかでも戦後の物資不足の時代にどんな形でどんな内容の会報であったかは定かではありませんが、当時は生活を守るだけでも大変な時代に会報を発行されたことについて、先輩の偉大な努力と心の豊かさに唯々頭の下がる思いであります。なお、今日立派な会報が発行できるのも先師先人の歴史の上に現会員の皆様の絶大なご協力の賜と感謝致しております。

ご案内の如く校友会活動は会員名簿の整備と発行、会報の発行、総会の盛会とこの3つの事業を通じて会員相互の親睦を深め、ひいては母校日本大学の発展に寄与することであります。なかでも会報はその年の校友会の歩みや次の年の活動の予定、13学科校友会分会の活躍及び地方支部の活動報告、生物資源科学部の情報、学部先生方の消息、在学生の動向等を内容としてまいりました。今後も会報は校友会の発展と共に限られた予算、限られた紙面ではありますがより充実した内容を盛り込み、校友会活動の一翼を担ってまいりたいと存じます。

どうぞ今後共、校友会活動をご理解のご指導、ご協力の程をお願い申し上げます。

（日本大学校友会常任委員・生物資源科学部
校友会副会長）

「ねぶた」が六会に やって来た！

8月23日（土）と24日、湘南キャンパスの六会で、青森県の「ねぶた」祭りが催された。山車は、太鼓

が1台と平影清を題材としたねぶたが1台、学生が世話になるヨークマートの大駐車場から駅前通りを2時間かけて練り歩いた。太鼓の前ではそろいの衣装を着た青森の方達が踊っていた。赤や黄色のたすきをかけたり、鈴をつけた姿は華やかで夏休み中も研究や勉強にいそむ学生にトキメキと驚きを与えたようだ。

心ときめかせて参加した学生は次のように報告した。

掛け声は威勢良く、「らっせえー、らっせえー」と街中に響き渡っていた。音頭をとる人がその声をかけると周囲は「らっせえ、らっせえ、らっせえー」と応える。そのやりとりが太鼓のリズムに合っていて、とてもいい雰囲気だった。見ているこちらも踊りだしたくてうずうずするようなテンポだった。

ねぶた祭りの看板を読んでみるとみんなで踊ろう



と書いてある、勢いに任せて行列に入ることにした。

恥ずかしいという気持ちもあったが、それ以上に「らっせえー」と大きな声を出しながら踊るのはとても気分がよかった。周りにいる人と手をつないで輪になった、初めて会った人とも気軽に話せた。2時間踊り終えた後はマラソンを完走したときのような気分で、心地よい疲労感が残った。

唯一残念だったことは、お神酒が私まで回ってこなかったことだ。来年も湘南ねぶた祭りが行われ、生物資源科学部からも1台でるとの噂を聞くと、今から来年が待たれる。この気持ち参加者の特典として来年まで大切にしたい。

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会役員・事務局名簿

名誉会長	門田定美(水産・海洋)	日本大学総長代理代行 生物資源科学部長	〃	斎藤公三(農工・環工)	日本大学生物資源科学部
会長	茂 澤 晃(農化)	㈱モザワ	〃	関村具由(食工・食科)	三凱商事
副会長	富 澤 寿 樹(短農)	㈱マルナカ	〃	大瀧博久(食工・食科)	日新化工㈱
〃	近藤良三郎(拓植・国際)		〃	青井幸雄(食工・食科)	日本大学生物資源科学部
〃	村田 昇(農工・環工)	中央開発㈱	〃	水野包男(拓植・国際)	㈱協和組
幹 事	西鳥羽曙(農学・植物)	㈱博友社	〃	浜口喜博(拓植・国際)	
〃	浅野 明(農学・植物)	日本大学通信教育部講師	〃	富 樫 利 男(短農)	
〃	坪木良雄(農学・植物)	日本大学生物資源科学部	〃	楠 元 守(短農)	日本大学短期大学部
〃	江 刺 琢 磨(農化)		〃	岡 崎 祥 子(短生)	住友銀行
〃	木 嶋 弘 倫(農化)	豊栄産業㈱	〃	清 水 由 佳(短生)	
〃	日 比 野 次 郎(獣医)	獣医医院	〃	飯 塚 統(短生)	日本大学短期大学部
〃	中 川 秀 樹(獣医)	獣医医院	〃	大 谷 憲 司(応生)	㈱スリオンテック
〃	月 瀬 東(獣医)	日本大学生物資源科学部	〃	中 村 親 民(応生)	広島大学医学部
〃	平田芳弘(畜産・動物)	神奈川県家畜産物衛生 指導協会	〃	津久井 通(応生)	東京大学大学院
〃	岩間 脩(畜産・動物)	パッカス商事㈱	会長賞 選考委員	水野包男(拓植・国際)	㈱協和組
〃	小牧 弘(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部	〃	小 泉 香 織(短生)	㈱富士通 ソーシアルシス テムエン지니어リング
〃	三 木 敏 夫(食経)	茨城セイコーマート㈱	〃	江 刺 琢 磨(農化)	
〃	村 山 進(食経)	自営	監 査	山 根 勝 次(食経)	日本大学講師
〃	安 村 碩 之(食経)	日本大学生物資源科学部	〃	西山栄一(農学・植物)	種藤商店 (自営)
〃	鹿野 忠(林学・森林)		〃	野田郁夫(林学・森林)	昭和エーテル㈱
〃	宮島吉夫(林学・森林)	農林漁業信用基金	事務局長	木村貞司(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部
〃	濱本和敏(林学・森林)	日本大学生物資源科学部	局 員	本江一郎(林学・森林)	日本大学生物資源科学部
〃	竹内 均(水産・海洋)	竹内商事	〃	世良田和寛(農工・環工)	日本大学生物資源科学部
〃	櫻木 進(水産・海洋)	川崎公害監視センター	〃	丹羽美次(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部
〃	田中祥皓(水産・海洋)	㈱幸伸商会	〃	千野 誠(食工・食科)	日本大学生物資源科学部
〃	鈴木昌二(農工・環工)	世田谷区議会議員			

会 報 編 集 委 員

農 学 校 友 会	藤 井 秀 昭	桜 工	水 学	会 会	吉 原	喜 好
紫 友 会	関 泰 一 郎	F	T	会 会	川 西	啓 文
角 笛 会	金 山 喜 一	拓 友	友 会	会 会	阿 部	申 行
満 喜 葉 会	増 田 哲 也	む つ あ い 会	会 会	会 会	緒 方	守 弘
い も づ る 会	木 島 実	生活環境学科校友会	会 会	会 会	楠 元	雅 弘
あ す な ろ 会	宮 野 則 彦	応用生物科学科校友会	会 会	会 会	後 藤	嘉 兵

発 行 所 日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会

(湘南校舎) 〒252 神奈川県藤沢市亀井野1866

(東京校舎) 〒154 東京都世田谷区下馬3の34の1

電 話 03-3421-8332

F A X 03-3421-4744

編 集 ・ 発 行 会 報 編 集 委 員 会

委員長 富澤 寿樹

印 刷 所 東京商工株式会社